

*Kontyû, Tokyo*, 56 (2): 298, June 25, 1988

### 新刊紹介

Manual of Nearctic Diptera Vol. 2. Coordinated by J. F. McALPINE, B. V. PETERSON, G. E. SHEWELL, H. J. TESKEY, J. R. VOCKEROTH and D. M. WOOD. Research Branch Agriculture Canada Monograph, No. 28: i-vi+675-1332, 1912 figs. Minister of Supply and Services Canada. 1987.

本誌第 49 巻第 3 号に紹介した Manual の第 2 巻である。本書は当初計画では全 2 巻であったが、第 2 巻に含める予定の“双翅目の系統と分類”の項が別立の第 3 巻として近く刊行されるので、全 3 巻になった。第 2 巻は、第 1 巻 第 6 章から続いている各科別の解説や検索表の残りであり、おもに北米、一部欧州の著名な双翅学者 23 名の執筆陣によって、Muscomorpha (Cyclorhapha) といわれる、いわゆる高等ハエ類の北米産全科 (ヤリバエ科からコウモリバエ科までの 65 科) が解説されている。各科は成虫、卵、幼虫 (囲蛹)、生態と行動、分類と分布、属の検索表 (科によっては幼虫も含む)、文献の順で記述されている。成虫の項では、科の成虫の形態が、雌雄交尾器の構造も含めて詳細に記述されているが、これは世界の種の広範な研究にもとづいたもので、もちろん北米産以外の種にも十分に適用できる。生態と行動の項は、生活史の概要や生態上特記すべき事項が簡潔にまとめられ、それに関係した重要な文献も示されていて、この方面の研究の指針となる。分類と分布の項では、世界や新北区の種や属の数、科の系統的關係、亜科の分類、世界的な分布状況や動物地理区ごとの revision、研究史、その他特記事項がまとめられている。属の検索は、新北区産の属の明解な検索表で、亜属や種群までの検索表のついている科もある。属ごとに新北区の種数 (1 種の場合はその種名)、北米内での分布、必要に応じてその属の主要文献が示されており、属の概要を知る上で便利である。文献としては、新北区の各科の文献にかぎらず、科の重要な分類、生活史に関する文献が列挙されている。巻末には前巻の正誤表と学名等の索引がついている。第 1 巻と同じく、Mr. IDEMA と Mr. FLAHEY というオタワの Biosystematics Research Centre の著名な昆虫画家による、各科の代表種の全形図、雌雄交尾器の解剖図、頭部、触角、翅脈相など、検索に必要な精緻な図が示されており、その数は 287 図版 1912 図に及んでいて、本書の利用価値を著るしく高めている。科によっては、新属の記載も含まれている。北米の双翅類は、日本列島との関連性がかなり強く、多数の共通属 (両地域だけの共通属もある) がある。本巻に含められている Muscomorpha、とくに無弁翅類の分類は、微妙な形質にもとづくものが多く、わが国では研究が不完全な科が多数含まれていて、双翅類の分類学者にとっても実に厄介な群である。このような点から、本巻は第 1 巻以上に、日本の双翅類に興味を持つ者にとってはありがたい便利な出版物であって、これまでただ単に“コバエ”としてしか片付けられなかったこの仲間のハエの、科や属の名称が、誰でも少しばかりの努力で、明確に決定できるようになった。本書は前巻と同様に、単に双翅類関係者や研究機関の必携の書というだけではなく、昆虫を研究や趣味の対象とするあらゆる人びとにとって、座右に置くことで、双翅類についてなにか知りたいことがあったときに十分な解答や指針を即座に示してくれるような、“ハエに強くなる本”である。本会のすべての会員にお勧めしたい。価格も現行レートでは 7,000 円あまりで、前巻 (1981 年時点で 48 カナダドル) と合わせて購入されると便利である。入手先: Canadian Government Publishing Centre, Supply and Services Canada, Hull, Quebec, Canada K1A 0S9 (68.35 カナダドル)。

(三枝豊平)